



今年最初の善循環通信は、中国で実施されている上海蟹の養殖プロジェクトを紹介いたします。

このプロジェクトは上海市に隣接する江蘇省で行われています。江蘇省は上海蟹発祥の地で、現在同省には上海蟹の養殖場が20万haあります。一方江蘇省は、立地の良さから近年急速な経済発展を遂げており、発展に伴う環境汚染も深刻化し、特に水系の汚染は上海蟹の養殖に深刻な打撃を与えています。

また、上海蟹の養殖においては、成長促進ホルモンや抗生物質の投与が一般化しており、市場イメージ向上のため薬剤投与を減らしていきたいという動きも芽生えてきています。

このような背景の中、江蘇省高淳県の水利局、環境局などの行政や農協などがEM技術に着目し、上海蟹の生産性向上(死亡率の低減化)、品質向上(薬剤使用量の減少)、環境保全(養殖廃水の浄化)など、EMの多面的な効果を検証するため、プロジェクトが開始されました。



EM 培養工場



養殖場へのEMの投入

このプロジェクトは、2012年6月から7haの養殖場で予備試験が開始され、初年度で予期の成果を挙げることに成功しました。

この成果を受け昨年(2013年)は試験面積を100haに拡大、初年度同様に良い成果が得られたことから地元政府関係者もEM技術を高く評価するようになりました。

今年(2014年)からは、プロジェクトの規模を1000haに拡大することが確定しています。



養殖場へのEM投入



浄化された養殖場

◇◇◇◇◇通常総会のご案内 ◇◇◇◇◇

第15回(平成25年度)U-ネット通常総会を下記の通り開催いたします。平成25年度の正会員の皆様へ、総会議案ならびに委任状をお送り致します。発送は2月10日頃を予定しております。

【日時】平成26年2月22日(土) 13:00~17:30

【場所】芝公園フロントタワー2F(東京都港区芝公園2-6-3) ※昨年と同じ会場です